



Nippon Techno Lab Inc.

2010年 札幌証券取引所 上場会社合同説明会資料

日本テクノ・ラボ株式会社 (証券コード3849)

Sapporo Securities Exchange Briefing material In 2010

NIPPON TECHNO LAB INC.

● 会社案内

- 会社概要
- 日本テクノ・ラボ(株)とは
- 会社沿革
- 経営理念

● 事業概要

- 業績の推移
- 株主還元（配当方針、配当実績、予想）

● 今後の展望

● 総括

会社案内

日本テクノ・ラボ株式会社 (英訳：Nippon Techno Lab Inc.)

- 所在地：**本社：東京都千代田区平河町1-2-10平河町第一生命ビル5F
福岡事業所：福岡市博多区博多駅東二丁目9番25号
- 設立：**1989 (平成元年) 1月31日
- 資本金：**401,200,000円 (平成22年6月現在)
- 代表者：**代表取締役社長 松村泳成
- 従業員：**41名 (平成22年6月現在)
- 決算月：**3月
- 事業内容：**各種事業におけるソフトウェアの開発、販売及びシステムインテグレーション等

● 日本テクノ・ラボ(日本技術研究所)とは

■ コンピュータ関連の技術開発

- ◆ ソフトウェア開発会社として、世界に向けて独創的技術をリリースする
- ◆ 世の中にある素晴らしい技術を『つなぐ』ことで新しい価値を生み出す

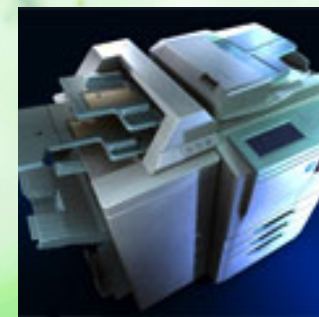
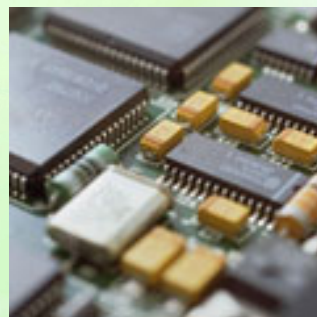
■ 情報工学の基礎・基本となる技術の重視

- ◆ OS、デバイスドライバ、ネットワーク、マイクロプログラミング等の**基本的な基礎理論**の確立、**基礎技術**の習得を重視
- ◆ それら基礎技術の長年にわたる**涵養**
- ◆ **圧倒的な技術力の保有とオリジナル技術**の確立

● 当社の代表的な技術

■ 大型プリンタの『コントローラ』開発技術

- ◆ プリンタをコントロールする『制御装置』の開発技術
- ◆ 近年では集積した技術を基に、あらゆる物体への印刷が可能である産業用インクジェットプリンタ制御装置を開発
 - 凸凹した壁紙への画像印刷
 - 微小で弓なりの米粒表面への印字



● 当社の代表的な技術

■ ストレージソリューション

- ◆ DVD、Blue-Rayなどの光ディスクを数百～数千枚格納する Primera社『Bravo』の販売
- ◆ 『Bravo』を自動管理するシステム『iDupri』を開発・販売

■ セキュアプリントシステム

- ◆ 組織内のプリンタを一括で管理し、情報漏洩を抑止するシステム『SPSE』を開発、販売

■ 映像セキュリティ技術

- ◆ 複数のカメラの映像を高画質なデジタル情報として、リアルタイムで一括管理できる『FireDipper』を開発



東京本社：東京都千代田区平河町第一生命ビル5F

- 平成 元年 資本金640万円にて会社設立
- 平成 元年 東京都品川区東五反田にて営業開始
- 平成 元年 東京都品川区大崎に移転
- 平成 2年 東京都中央区日本橋人形町に移転
- 平成 2年 プリントサーバ事業開始
- 平成 3年 プリントサーバNPSシリーズを発売
- 平成 3年 資本金1,000万円に増資
- 平成 6年 東京都中央区大伝馬町に移転
- 平成 6年 ファイルストレージソリューション事業開始
- 平成 6年 日本HPとMOライブラリのOEM契約
- 平成 8年 資本金を1億9,200万円に増資
- 平成 8年 米国アドビシステムズ社と業務提携
- 平成 8年 Mistral プリントサーバ発売開始
- 平成 9年 東京都日本橋堀留町に開発センターを開設
- 平成10年 キヤノン販売とMISTRAL販売契約
- 平成11年 資本金2億2,820万円に増資
- 平成12年 資本金3億7,820万円に増資
- 平成14年 東京都千代田区平河町に移転
- 平成14年 情報セキュリティ事業開始
- 平成15年 PCGUARD出荷開始
- 平成16年 COPYGUARD出荷開始
- 平成16年 大学病院にHPKI認証システム納入
- 平成16年 アーカイブソフトウェア MNEMOSシリーズ出荷開始
- 平成18年 映像セキュリティ事業開始
- 平成18年 福岡事業所開設
- 平成19年 札幌証券取引所アンビシャス市場に上場
- 平成19年 資本金4億120万円に増資
- 平成20年 セキュアプリントシステム発売開始
- 平成21年 CO2オフセットナビゲータ及びトナー・インクサーバー発売開始

● 企業価値の創造

- ソフトウェア、システム開発事業を通じて社会に貢献し、企業価値を創造してまいります

● Great Small Company(量より質)

- 会社規模よりも技術の独創性を重視いたします



● 経営方針

- 固有技術・希少技術へこだわりを持つ
 - ◆ 独自の付加価値・高い利益を重視する
- 自社開発を基本とする
- 基礎理論、基本技術を重視する
- 事業、技術、製品においてオンリーワン企業を目指す
- 株主、従業員、取引先との調和を重視する

**これらの基本理念のもと、我々『日本テクノ・ラボ』の社員は、
企業活動と専門技術の蓄積を行っております**

事業概要

● イメージング&プリンタコントローラ事業

■ プリンタの制御システムソフトウェアの開発・販売

- ◆対象：特殊・産業用プリンタを供給しているメーカー
- ◆内容：同プリンタの制御システムソフトウェアを開発・販売する

■ 当社のプリンタ制御技術の特徴

- ◆紙以外の特殊な印刷対象・用途にも対応
 - 印刷対象：プラスチック、金属、基板、フィルム、etc…
 - 印刷用途：普通印刷、塗装、マーキングシステム、etc…
- ◆当社独自の技術を組み込むことで、新たな価値を創造
 - ラインの簡素化、合理化、低公害化、適正在庫化
 - 製品にトラッキング情報を印刷することも可能で、製品の一括管理が容易に

長年の技術の蓄積があっからこそ提供可能な、当社の誇る主力事業です

● ストレージソリューション事業

- ディスクパブリックシャ『Bravo』のハード販売
- ハードの管理・制御システム『iDupli』の開発と販売
 - ◆ 対象：大規模なデータのバックアップを必要とする組織
 - ◆ 内容：製品の提供と保守、およびSI(役務提供)



Bravo XRP ならびに Bravo Pro Xi2 は、Primera Technology, Inc.の登録商品です。
日本テクノ・ラボは、Primera正規代理店としてお客様とPrimeraとの窓口となり、日本国内の販売と保守を担っております。

● ストレージソリューション事業

- ディスクパブリッシャ『Bravo』とは
 - ◆ 光ディスク(DVD,Blue-Rayなど)に自動で書き込みを行い、数十枚を同時に管理できるPrimera社の大容量ディスク管理機器
- 当社開発ストレージシステム『iDupli』とは
 - ◆ ディスクパブリッシャを自動管理するアーカイブシステム
- 当社のストレージシステムの特徴
 - ◆ 環境に配慮した『グリーンIT』適合システム
 - 光ディスクを媒体とし、常時電源を入れておく必要がないオフライン管理
 - 省電力・省発熱・CO2の削減につながる情報産業の新しい価値観

**使いやすさと、省エネによる経費削減を備えた、
新しいスタイルのストレージソリューション事業です**

● 情報セキュリティ事業

- IT業界、永遠のテーマである『情報の安全』
- 当社は企業を対象とした情報漏洩を防ぐソフトの開発、販売及びソリューションの提供を行う



● 情報セキュリティ事業・当社製品紹介

■ セキュアプリントシステム『SPSE』

- ◆ 紙媒体からの情報漏えいを抑止する印刷認証システム
- ◆ 認証方式は従来のパスワード認証のほかICカード認証にも対応
- ◆ 印刷ログを保管する為、印刷情報の管理が容易
- ◆ お客様のご要望から、様々『付加価値』を実装するオプションを御用意
 - トナー・インクセーブソフトウェア『WISE SAVER』
 - CO2オフセットナビゲータ
 - NGワード検出機能
 - 地紋印刷機能

お客様の声から進化した『SPSE』は、大手金融機関や通信会社、教育機関などに納入され、業界を問わず幅広く支持を頂いております

● 情報セキュリティ事業・当社製品紹介

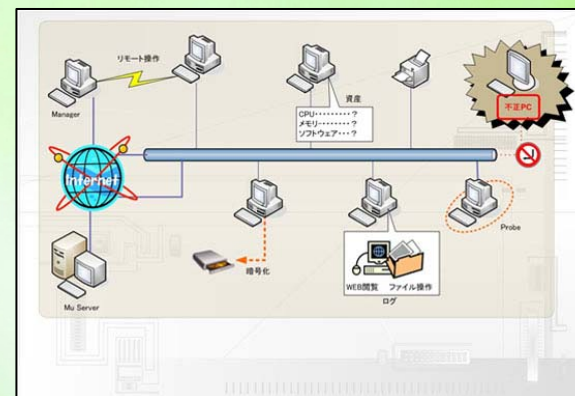
■ 『WISE PATROL』

◆ 社内にある全てのPCの様々な動きを1台のサーバで一括監視

- ユーザの「コピー・アンド・ペースト」
- ソフトウェアのライセンス管理
- コンピュータのアップデート履歴

◆ 環境依存が少ない低負荷設計

- 低スペックのPCでも運用可能
- ダイアルアップ接続にも対応



**社内のPCの使用状況を、ネット接続からコピーまで
これ一本で一括監視できる、管理ソフトの決定版です**

● 映像セキュリティ事業

■ IPカメラネットワーク統合ソフトウェアの開発

◆ ビデオサーバシステム 『FireDipper』

■ 映像周辺機器やエンコーダ・デコーダの販売

◆ 無線LAN画像転送装置 『JSCOPE』

◆ 大規模オペレーション用ビデオエンコーダ 『NextivaS1800e』

■ システム構築など映像ソリューション



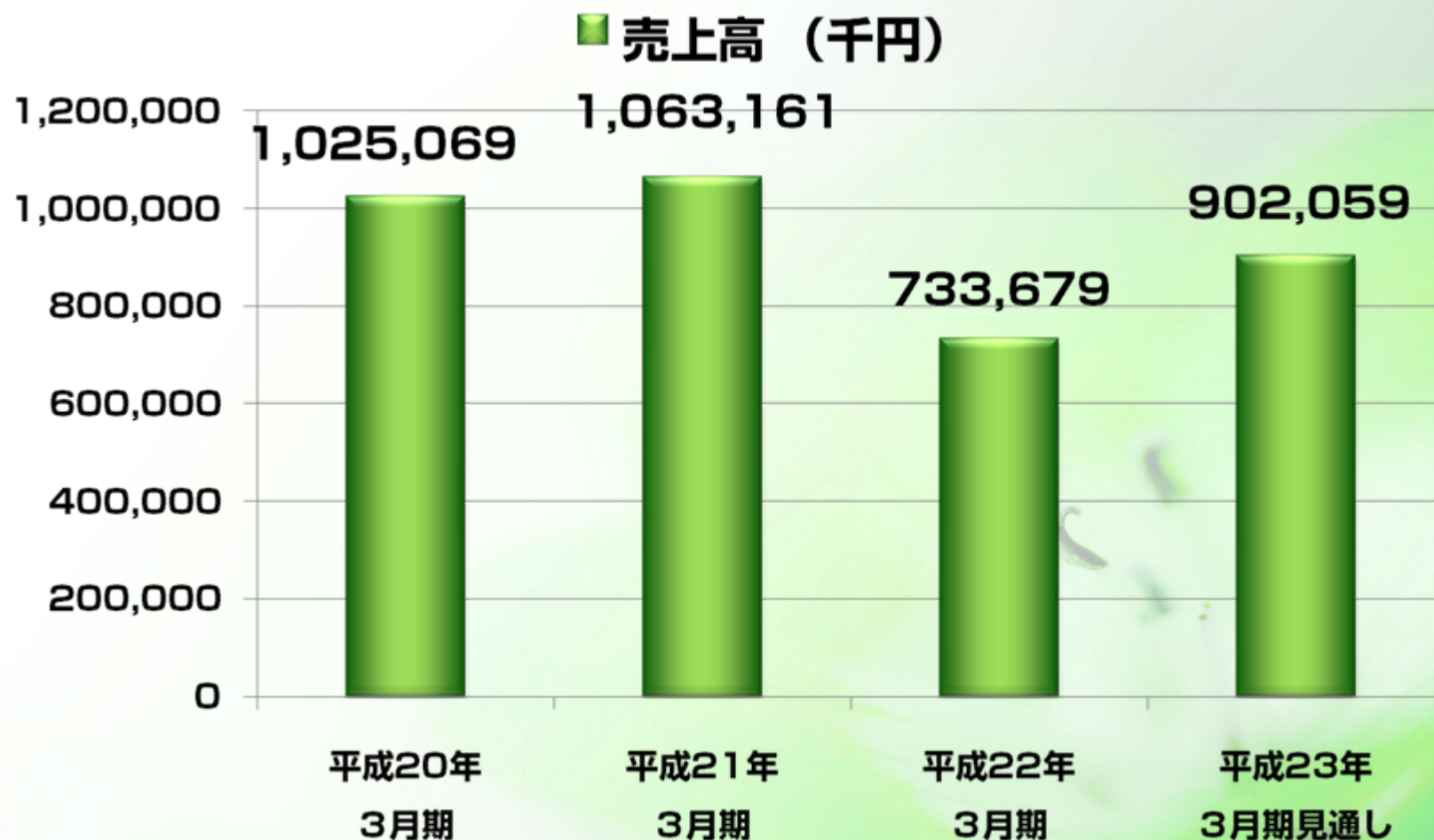
● 受託開発事業

- お客様のニーズに応えたソフトウェアの受託開発
 - ◆ 通信関連ソフトウェア開発
 - ◆ 輸送機器向け組み込み用ソフトウェア開発
 - ◆ 医療機器向けソフトウェア開発
 - ◆ etc…

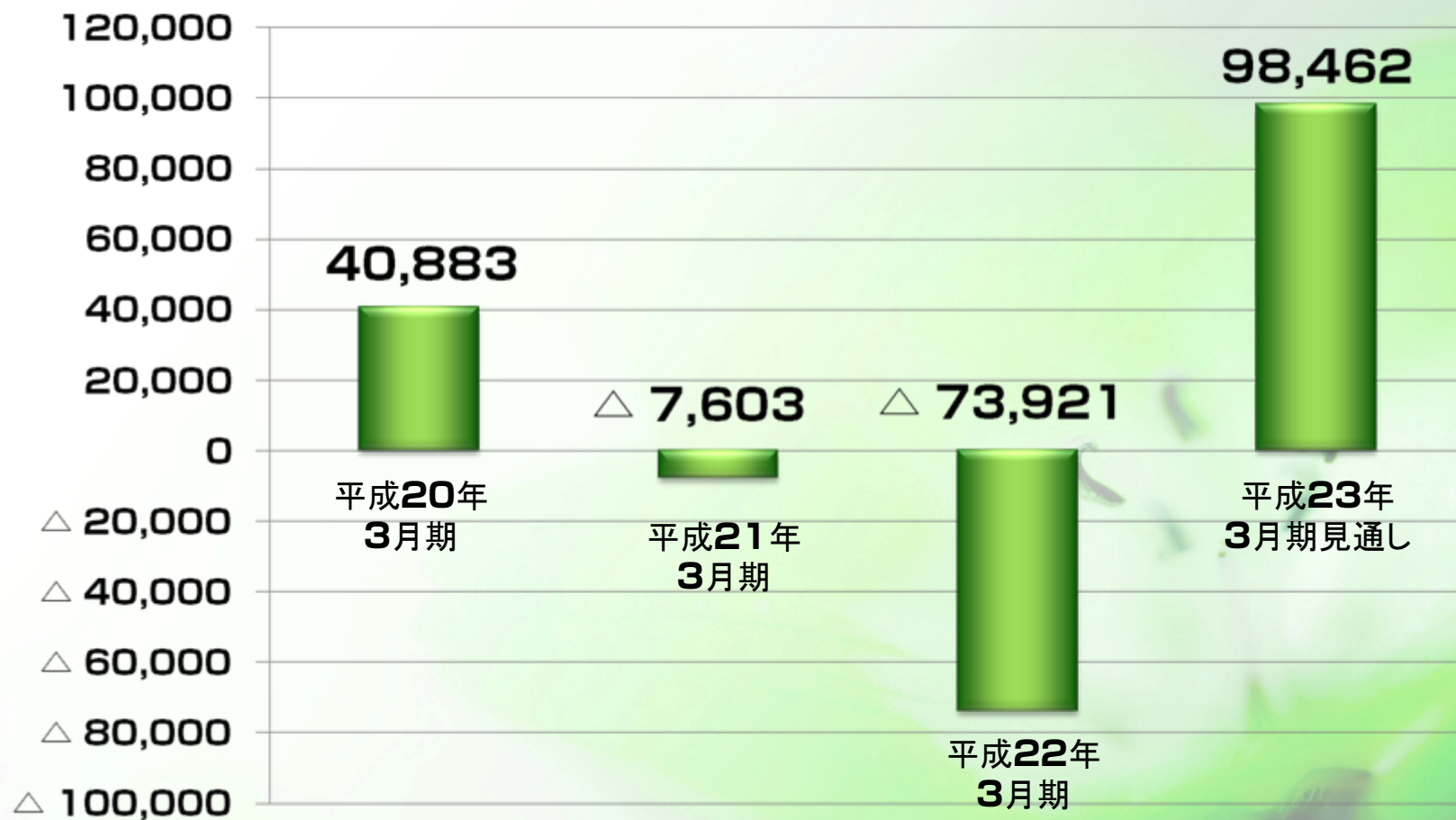
● 保守・サービス事業

- 当社の提供する上記製品に関する保守・カスタマーサービス事業

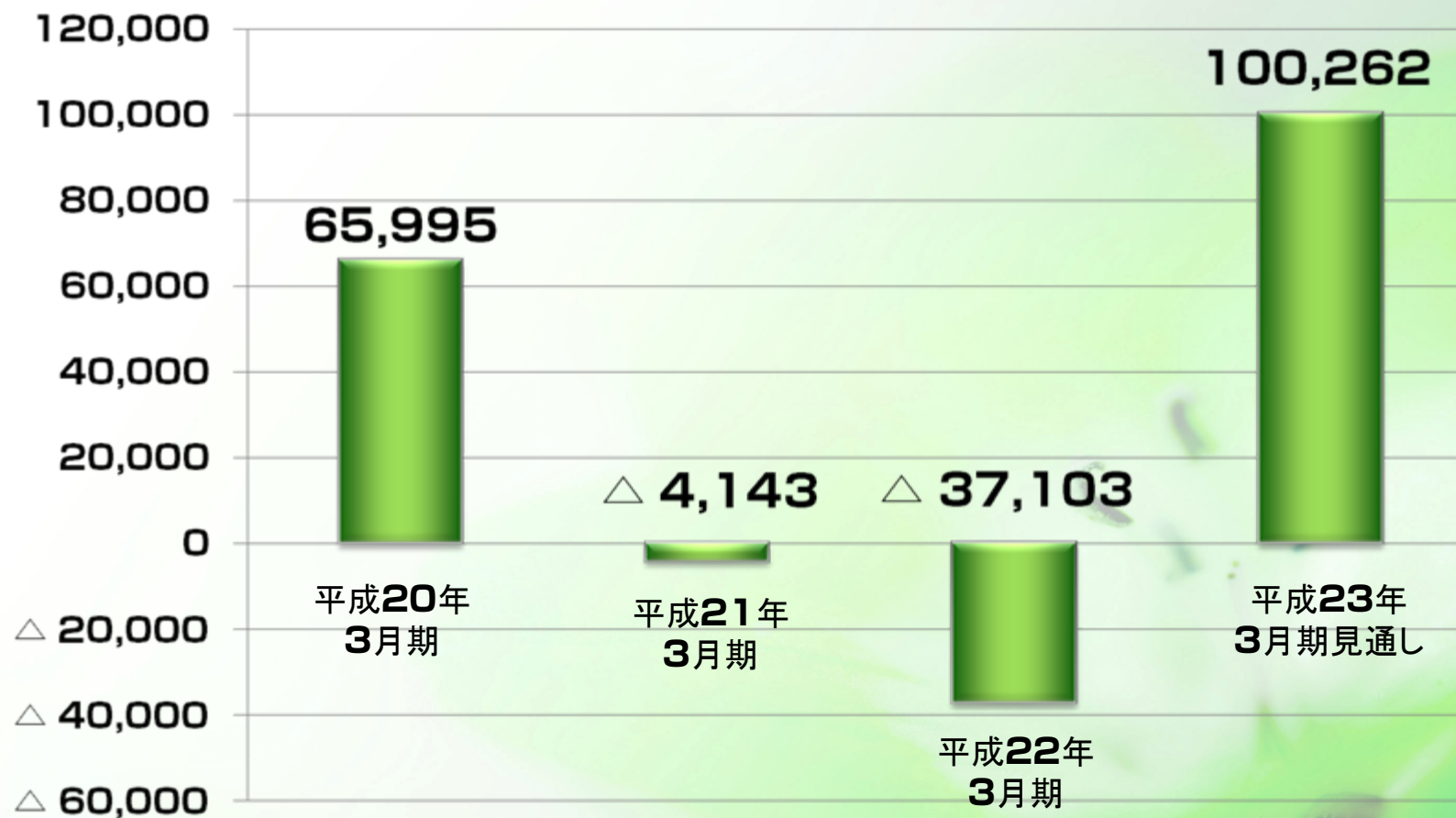
業績の推移



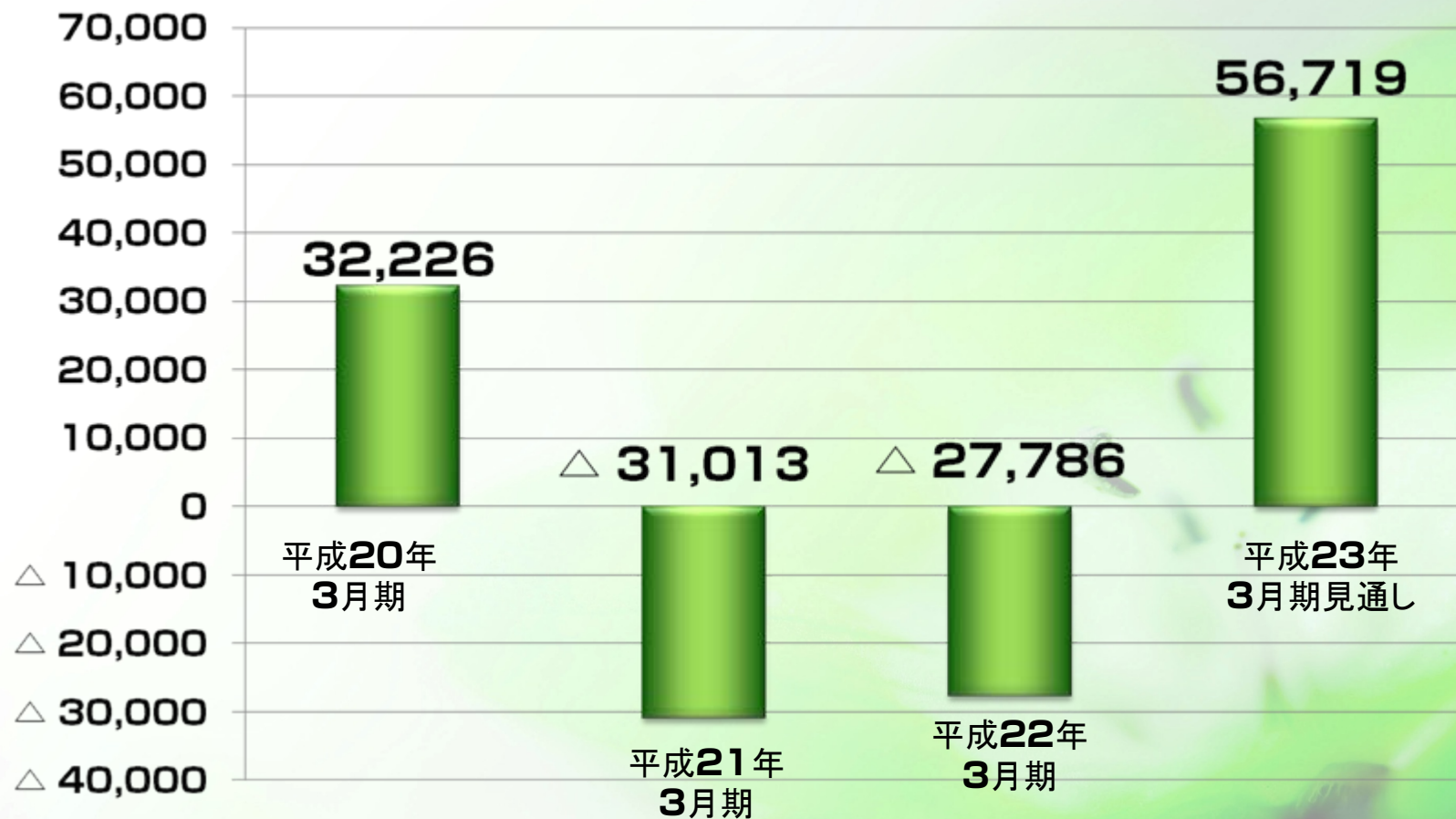
■ 営業利益（千円）



■ 経常利益（千円）



■ 当期純利益（千円）







当社は研究開発型の企業として、将来の事業拡大及び企業体質強化を図るための内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元を行なっていくことを基本方針としております。

このような方針に基づき、当事業年度における剰余金の配当につきましては、期末当期純利益に対し現在の配当性向を維持し、株主の皆様へ還元させていただくこととしております。

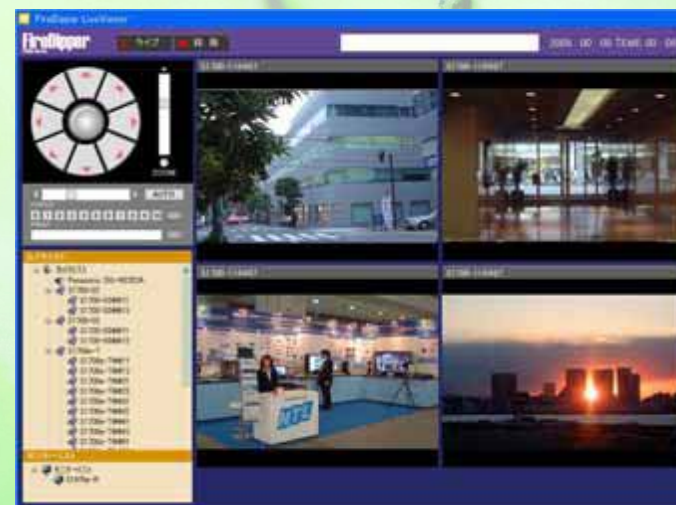
(参考)年間配当

基準日	1株当たり配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	年間
当期予想	—	1,000円00銭	1,000円00銭
前期実績 (平成22年3月期)	—	—	—

今後の展望

● ビデオサーバシステム 『FireDipper』

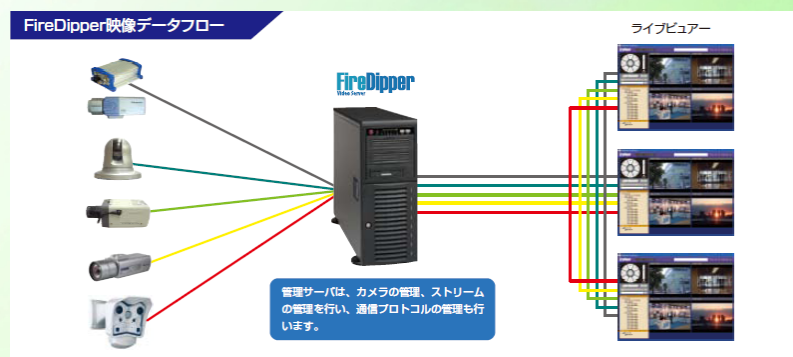
- 高品質なリアルタイム映像配信を可能にするビデオサーバシステム
 - ◆ 多数のIPカメラの接続を一本化するビデオサーバを設置
 - ◆ 複数のデジタル映像の録画・再生・配信の一括管理が可能



● ビデオサーバシステム 『FireDipper』

- 従来のアナログ映像と違い複数の映像の管理に物理的な切り替えが不要

- ◆ 映像品質の向上
- ◆ 映像管理効率の向上



『FireDipper』はリアルタイムで提供できる
映像の量・品質・記録が大きな価値となる
監視カメラのシステムに革命をもたらす、
新しいタイプの映像商品です

● 一般のプリンタでDICOM(ダイコム)プリントを実現

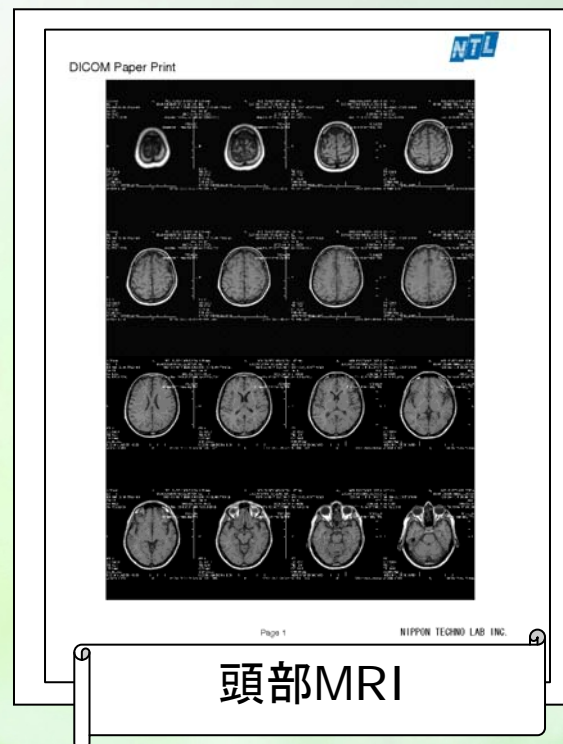
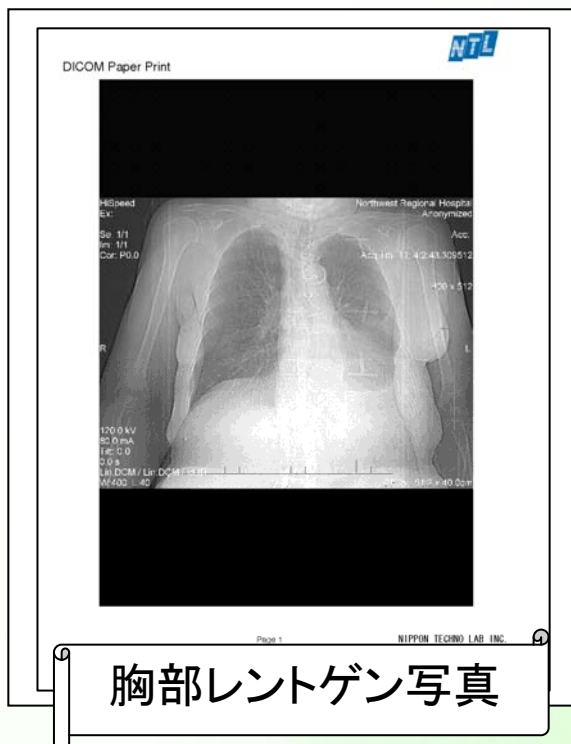
- 医療機器専用の通信・画像形式DICOMに、一般のWindows用プリンタを対応させるシステムを開発
 - ◆ 従来のDICOMシステムには専用の機器や知識が必要
 - ◆ 中小規模の医療機関では実装が難しい
- 当社の開発したシステムを実装すると…
 - ◆ 医療機関に機材の選択の幅が広がる
 - ◆ 中小規模の医療機関でもCT,MRIなどの画像を印刷することができるようになる



● DICOM(ダイコム)とは……

- 米国放射線学会 (ACR) と北米電子機器工業会 (NEMA) が開発した医療機器で撮影した画像に関する標準規格
 - ◆ CTやMRIで撮影される独自の画像形式
 - ◆ 医療機器間で画像を通信するための独自の取り決め

● たとえば……



**当社のシステムを使用すれば、このような専門的な写真が
様々な医療機関で気軽に印刷できるようになり、
医療従事者と患者との情報交換が行いやすくなります。
また、各医療機関の機材選択の幅が大きく広がります。**

● 当社『日本テクノ・ラボ』は…

- プリンタのコントローラの開発・提供を中心とした情報技術を基に、幅広く社会に商品を提供している会社です
- 当社の固有技術、希少技術に拘りを持った製品開発を行っております
- 今後は映像セキュリティ事象の拡大、医療情報分野への参入に向けた技術開発に鋭意取り組んでおります
- 今後も皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます



- **日本テクノ・ラボ株式会社**
- 札幌証券取引所上場会社合同説明会資料
- **2010年8月**
- 上場市場：札幌証券取引所（証券コード3849）
- 連絡先：03-5276-2813（IR担当）
- URL：<http://www.ntl.co.jp>